

ベリタスウェビナー

Veritas Vibe

APTAREでインフラの 無駄とリスクを断捨離！

APTARE IT Analyticsを使って
可視化から始める最適化

2020年 10月 15日（木）

11:00



本日のプレゼンター

前田 隆志

プリンシパルセールスエンジニア

テクノロジーセールス本部

ベリタステクノロジーズ合同会社

VERITAS™

ベリタスウェビナー: Veritas Vibe へようこそ！



本日のセッションは
事前に収録



ご質問はチャット（当日のみ）
もしくはメールで可能



各種資料はサイト上の
リンクからアクセス可能



製品の計画に関する将来的な記述は、仮のものです。将来のリリース日は、確定したのではなく、変更されることがあります。

今後の製品のリリースや予定されている機能修正について、ベリタスは継続的な評価を行っており、実装されるかどうかは確定していません。したがって、購入の意思決定の判断材料にすべきではありません。



本日の内容

- 1 なぜITインフラの一元管理が必要か？
- 2 APTARE IT Analyticsのユースケース
- 3 APTARE IT Analyticsのエージェントレス アーキテクチャ
- 4 ITインフラのサービスレベル管理を実現



本日の内容

1

なぜITインフラの一元管理が必要か？

2

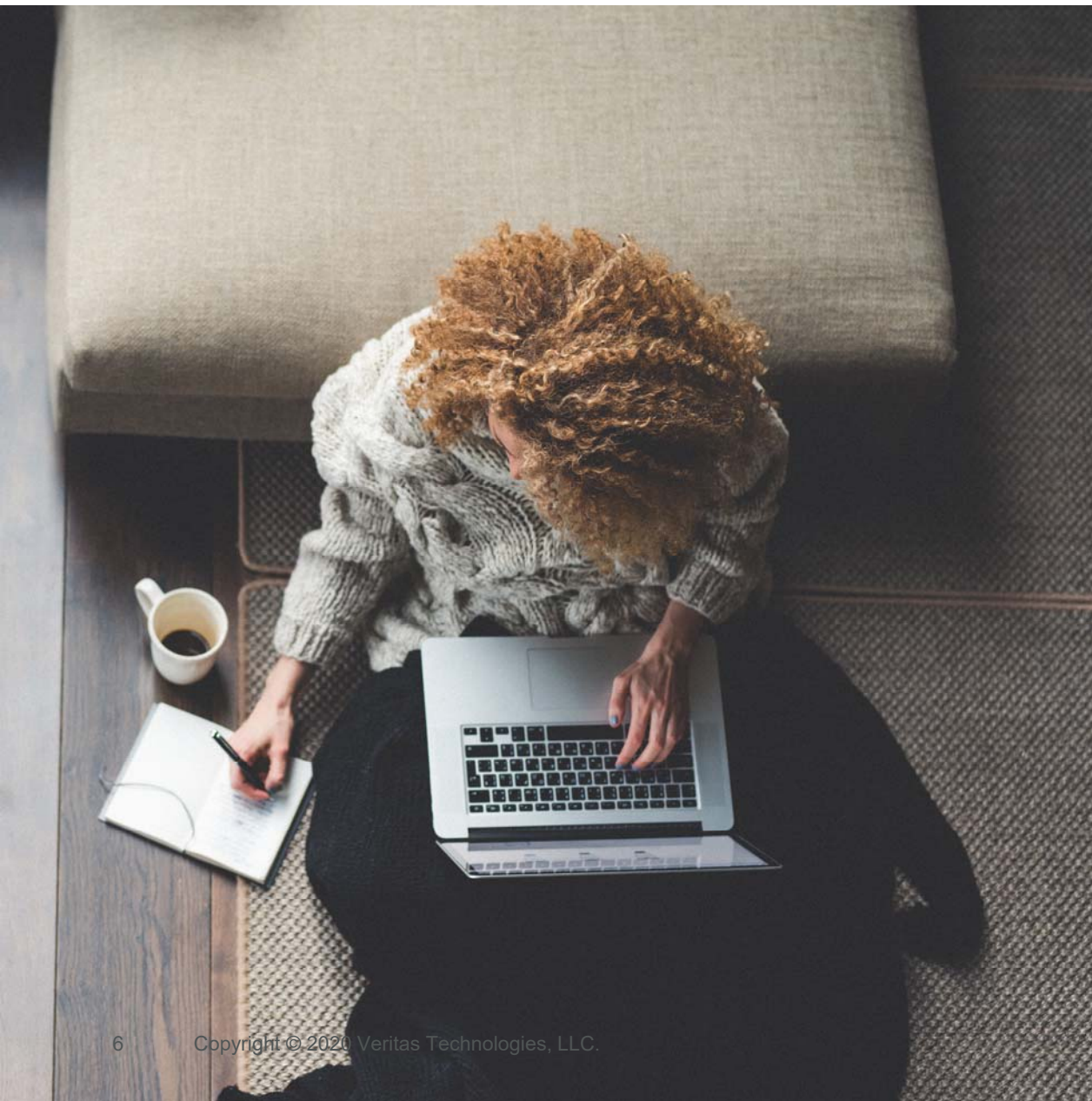
APTARE IT Analyticsのユースケース

3

APTARE IT Analyticsのエージェントレス アーキテクチャ

4

ITインフラのサービスレベル管理を実現



- ワークスタイルの変化
- データ容量の増加
- クラウド化
- サイバーセキュリティ

情報セキュリティ上の脅威

「組織」向け脅威

- 1 標的型攻撃による機密情報の窃取
- 2 内部不正による情報漏えい
- 3 ビジネスメール詐欺による金銭被害
- 4 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
- 5 **ランサムウェアによる被害**
- 6 予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
- 7 不注意による情報漏えい
- 8 インターネット上のサービスからの個人情報の窃取
- 9 IoT機器の不正利用
- 10 サービス妨害攻撃によるサービスの停止

NIST サイバー セキュリティ フレームワーク（CSF）

重要インフラのサイバーセキュリティを改善するためのフレームワーク



カテゴリー

- 情報を保護するためのプロセスおよび手順：（目的、範囲、役割、責任、経営コミットメント、組織間の調整について記した）セキュリティポリシー、プロセス、手順が、維持され、情報システムと資産の防御の管理に使用されている



カテゴリー

- 復旧計画： 復旧プロセスおよび手順は、サイバーセキュリティインシデントによる影響を受けたシステムや資産を復旧できるように実行され、維持されている
- 改善： 復旧計画およびプロセスが、学んだ教訓を将来の活動に取り入れることで改善されている

最終手段はバックアップからの復旧



米国国立標準技術研究所
(National Institute of Standards and Technology)



データを失う事故

バックアップデータの不備

プログラムの不具合

システム障害

自然災害

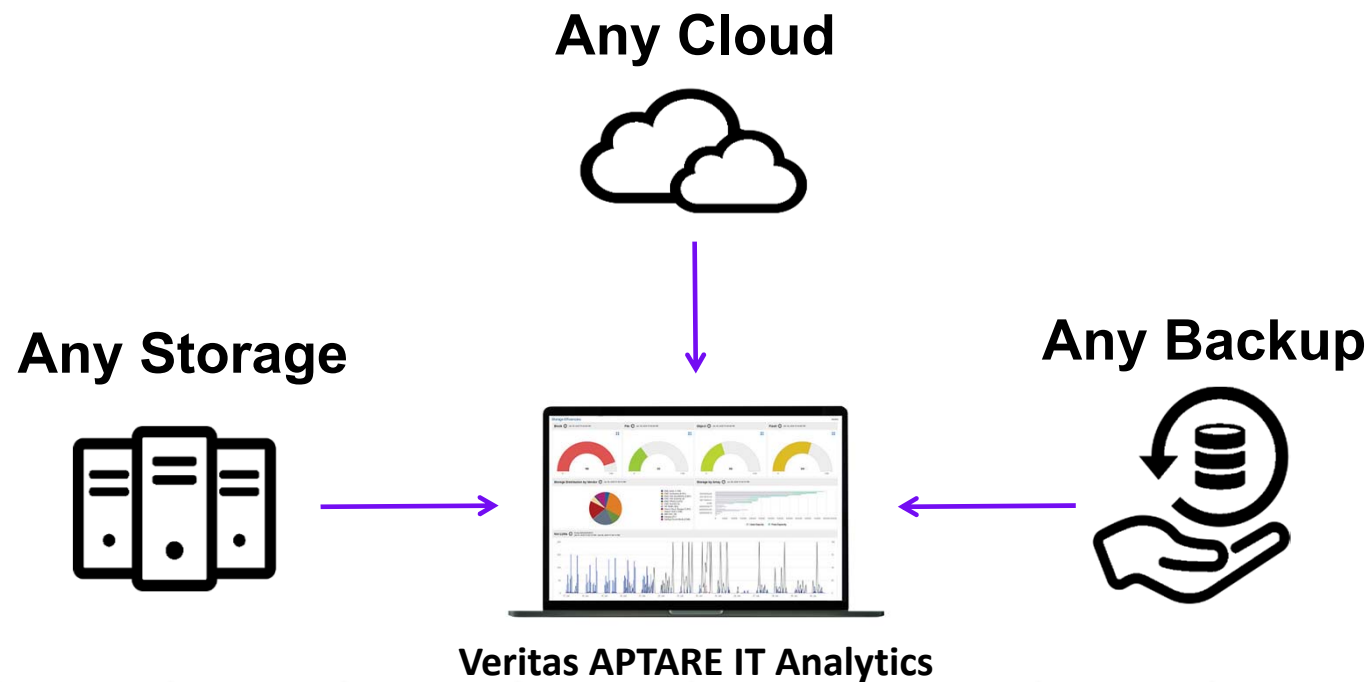
クラウド障害



本日の内容

1	なぜITインフラの一元管理が必要か？
2	APTARE IT Analyticsのユースケース
3	APTARE IT Analyticsのエージェントレス アーキテクチャ
4	ITインフラのサービスレベル管理を実現

APTARE IT Analytics



バックアップ、ストレージ、クラウド向けのベンダーに依存しない IT分析プラットフォーム

複雑化するITインフラを紐解き ビジネス課題を解決



インフラの最適化

データ保護
ストレージ
クラウド



統一した可視化

ヘテロな環境をダッシュボードに
様々な関連情報を可視化



包括的なチャージバック

CMDB, ServiceNowとの連携
App/GEO/BU...単位

インフラの最適化とコスト削減

データストレージ、データ保護、クラウドの費用を効果的に管理

インフラの最適化を行いたい...

- 再利用できるストレージ
- 非効率なバックアップ
- データストレージリソースを効率よく管理し、使用可能なストレージを最大限に活用
- すべてのストレージ、バックアップ、仮想環境がルールに則り、最適化されていることを確認



IT Analytics の効果

- 過剰に保護している、保護できていない資産の確認
- バックアップ監査とレポーティングを合理化してリスク削減
- キャパシティプランの精度を上げ、リソースの使用状況を把握
- コスト削減し、ストレージを最適化



事例：金融サービス

ストレージとコストの合理化

課題:

2年間ストレージの購入を止め、
現有資産を最大限に活用したい

ソリューション:

APTARE IT Analytics を全組織に展開した。

結果:

APTARE IT Analysis はエンドツーエンドの可視性で、
ストレージの使用状況と使用傾向を、
地域、部門、アプリケーションの切り口で、
より正確にレポートした。
インフラ管理者は、組織全体のリソース使用状況を把握し、
より効果的に管理可能になった。

8.3PB

8.3ペタバイトのプライマリストレージを再利用し、
2年間で160万5千ドルのコスト削減を実現した。

90 Day

ストレージの再利用を実施後、
90日でコストを回収した



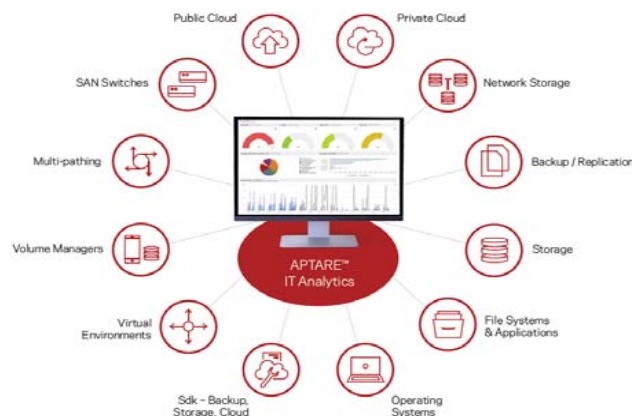
リアルタイム分析、トレンド分析、
キャパシティプランニング、
グローバルリソースの最適化戦略

ヘテロな環境全体を統一して可視化

ハイブリッドクラウド環境をダッシュボードで把握

多様な環境を把握したい...

- 保護されていない資産を特定
- データ保護ポリシーに含まれていないクライアントの可視化
- 最後に成功したバックアップの日付を把握
- 固有のコンプライアンス要件の把握



IT Analytics の効果

- 主要なバックアップ、ストレージ、クラウドテクノロジーを可視化
- プロアクティブに問題を特定
- 保護されていない資産がどこにあるかを表示しリスクを軽減化
- バックアップポリシーを自動化してより効果的に

事例：通信

バックアップの監査とレポーティングの合理化

課題:

複雑なインフラとコンプライアンス要件を抱え
グローバルのバックアップデータの収集と分析に課題があった

ソリューション:

APTARE IT Analytics を全世界11データセンタに配備した

結果:

APTARE IT Analytics で
バックアップのレポートと監査を合理化し、
より効率のよいバックアップアーキテクチャを実現し、
管理上の信頼度を高めた

導入後:99.9%

導入前:92.6%

バックアップの成功率

20～30%

バックアップレポート作成コストの削減割合

\$60,000/年

非効率なハードウェアで削減した費用



包括的なチャージバック

ストレージ、バックアップ、クラウドの利用要求を促進

チャージバックを導入して...

- 予算の支出状態を把握する
- 容量や利用実績を元にしたエンドユーザや利用部門への費用請求
- SLAを満たしリスクを軽減化



IT Analytics の効果

- 部門でチャージバックが可能
- マルチテナント環境での管理レポートが可能
- ストレージ、バックアップ、VMリソースの使用状況を元にコストと需要を管理しチャージバックを可能にする
- ニーズにあったストレージとデータ保護のコストで、ユーザを適切なレベルに引き上げる。



事例：医療サービス

インフラのチャージバックでITサービスを改革

課題:

複数の事業部とアプリケーションで使われているストレージを集計しチャージバックレポートを自動作成する必要があった

ソリューション:

APTARE IT Analyticsを使って
独自のチャージバックシステムを実装した

結果:

APTARE IT Analyticsで、
毎月、全階層のストレージ、事業部、アプリケーション毎に、
チャージバックに必要なストレージ容量を含む詳細情報を、
管理者向けのチャージバックレポートとして生成している

\$36,000/年

削減したOpEX



チャージバックプロセスの精度向上と合理化



ストレージ購入のCapEXを削減し、
企業全体の使用率を向上



本日の内容

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | なぜITインフラの一元管理が必要か？ |
| 2 | APTARE IT Analyticsのユースケース |
| 3 | APTARE IT Analyticsのエージェントレス アーキテクチャ |
| 4 | ITインフラのサービスレベル管理を実現 |

APTARE IT Analytics – 特徴

ダッシュボード – ストレージ&データ保護
マルチクラウドでもオンプレミスでも

さまざまな利用者 –
運用担当者からCIOまで

バックアップ、ストレージ、クラウドをカバーする
唯一のIT分析プラットフォーム

大規模な拡張性 –
Fortune10企業での実績

拡張性 – 新サブシステムに
対応するためのSDK

柔軟性 –
カスタマイズが簡単

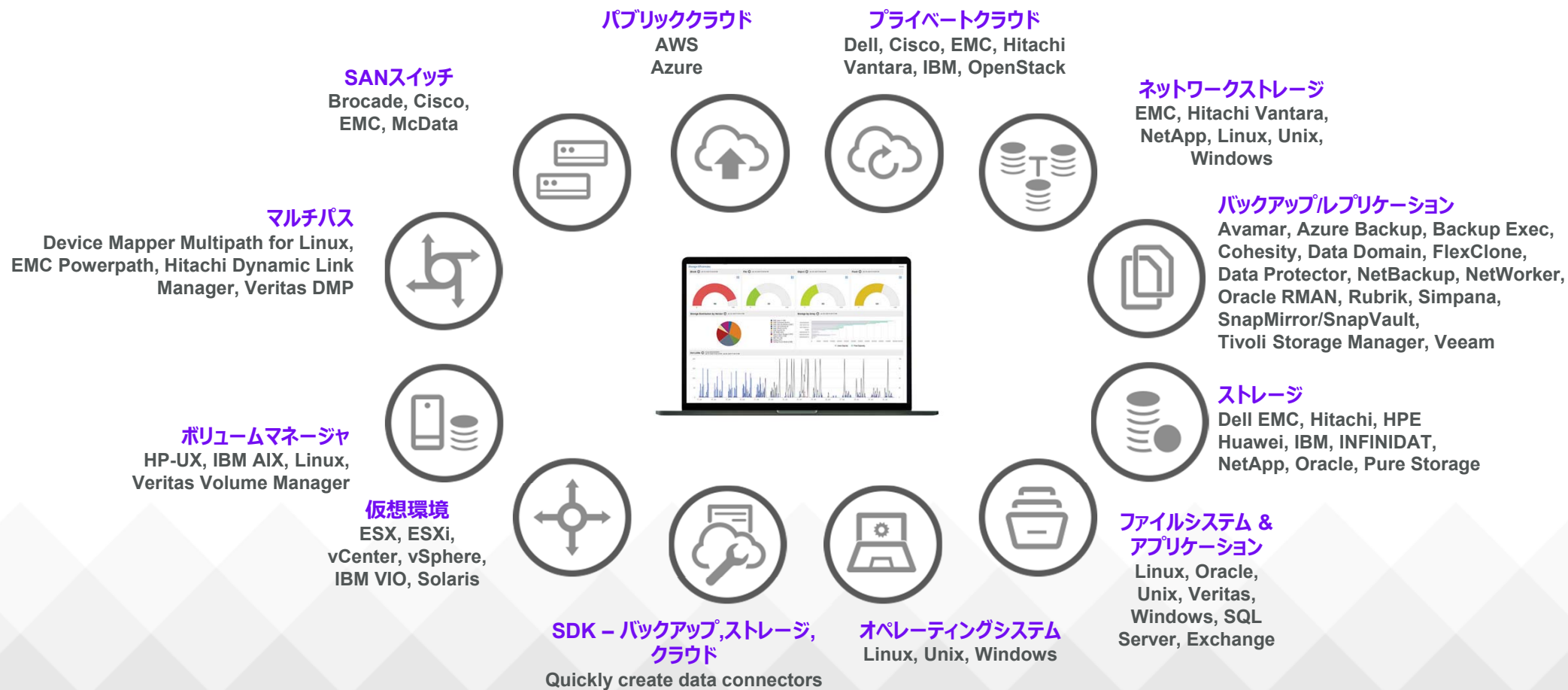
マルチテナント –
製品登場時から採用



クラウド対応 –
SaaS for IT Analytics

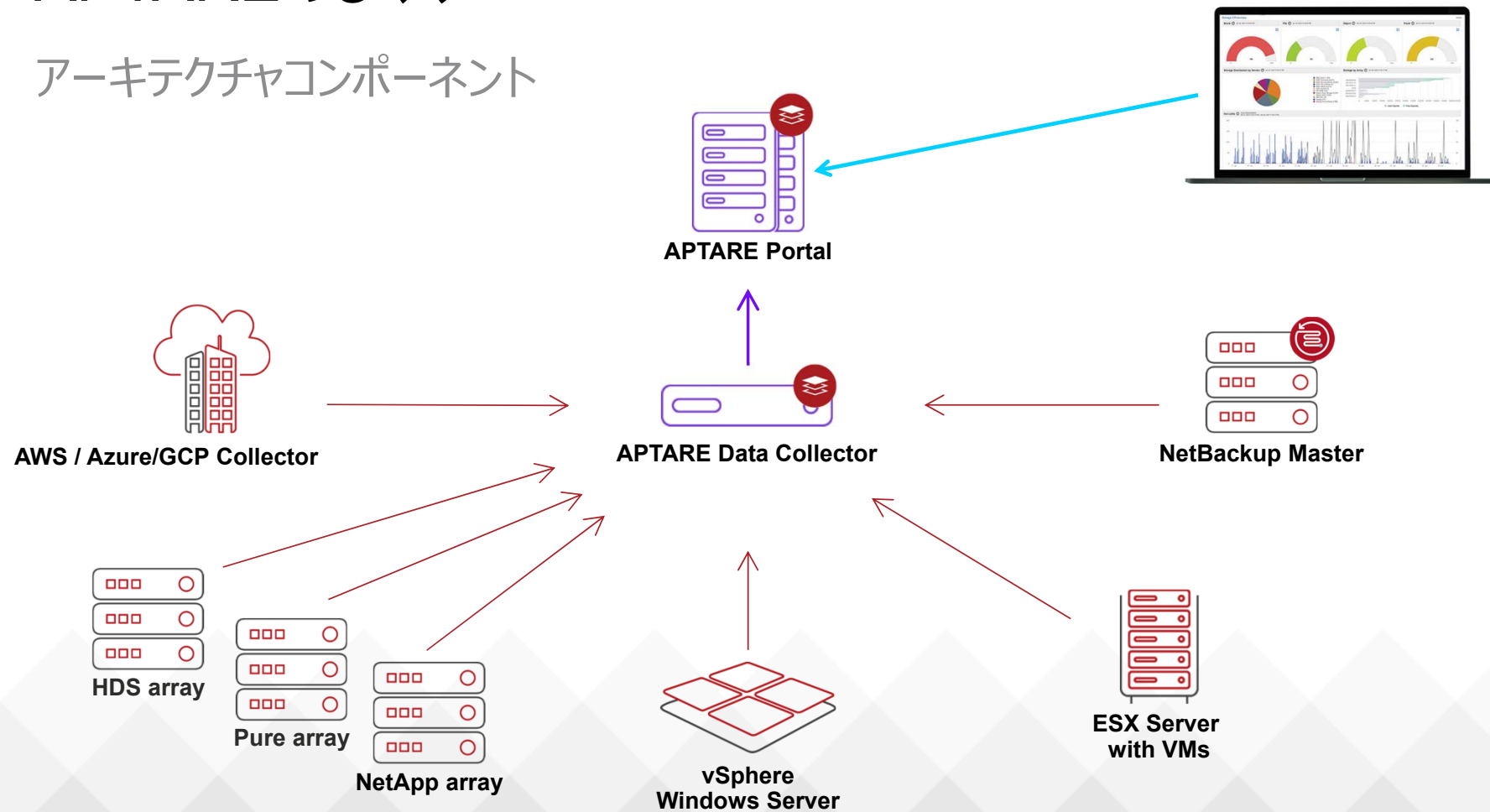
ヘテロ環境 –
ベンダー依存をなくす

APTAREで可視化を統一



APTAREのしくみ

アーキテクチャコンポーネント



システム要件：サーバー

	ポータル		データコレクター
	中規模 - ストレージ :10PBまで - バックアップ :10,000クライアント まで	大規模 - ストレージ :20PB+ - バックアップ :20,000クライアント	
構成	仮想サーバー	物理サーバー	仮想サーバー
OS	Windows 64bit / Linux 64bit	Linux 64bit	Windows 64bit / Linux 64bit
要件	4 vCPU 32GB Memory - Max 2 physical CPU Sockets - Min 200 GB usable disk space (SAN / DAS, not NAS)	- Min 4 core (8 logical CPUs) 96GB Memory - Max 2 physical CPU Sockets - Min 500 GB usable disk space (SAN/DAS, not NAS)	2~4CPU - Min 32GB Memory - Min 200GB

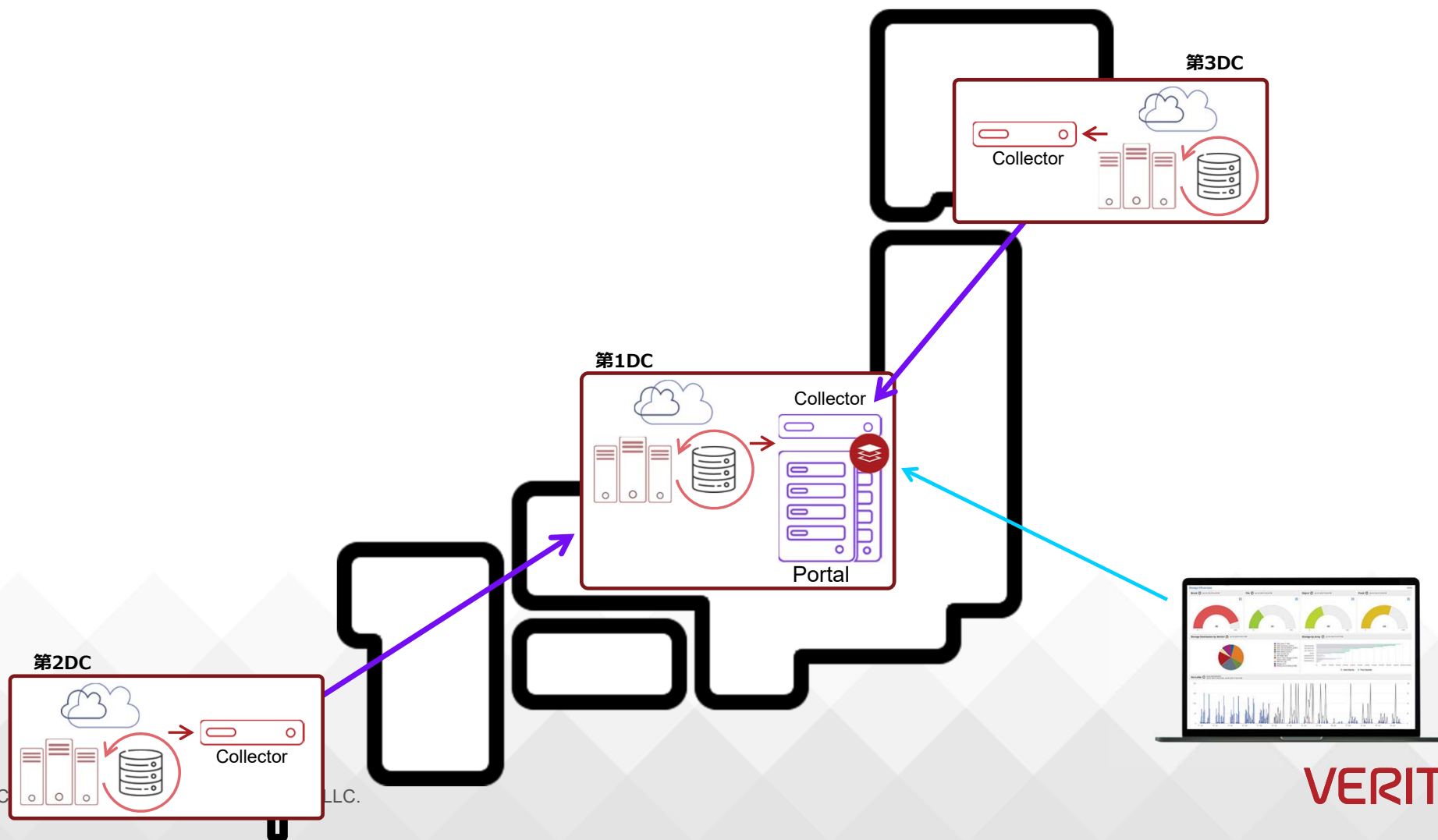
APTARE 10.5 Certified Configuration Guideより: https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/140726178-141940014-1

システム要件: 64bit OS

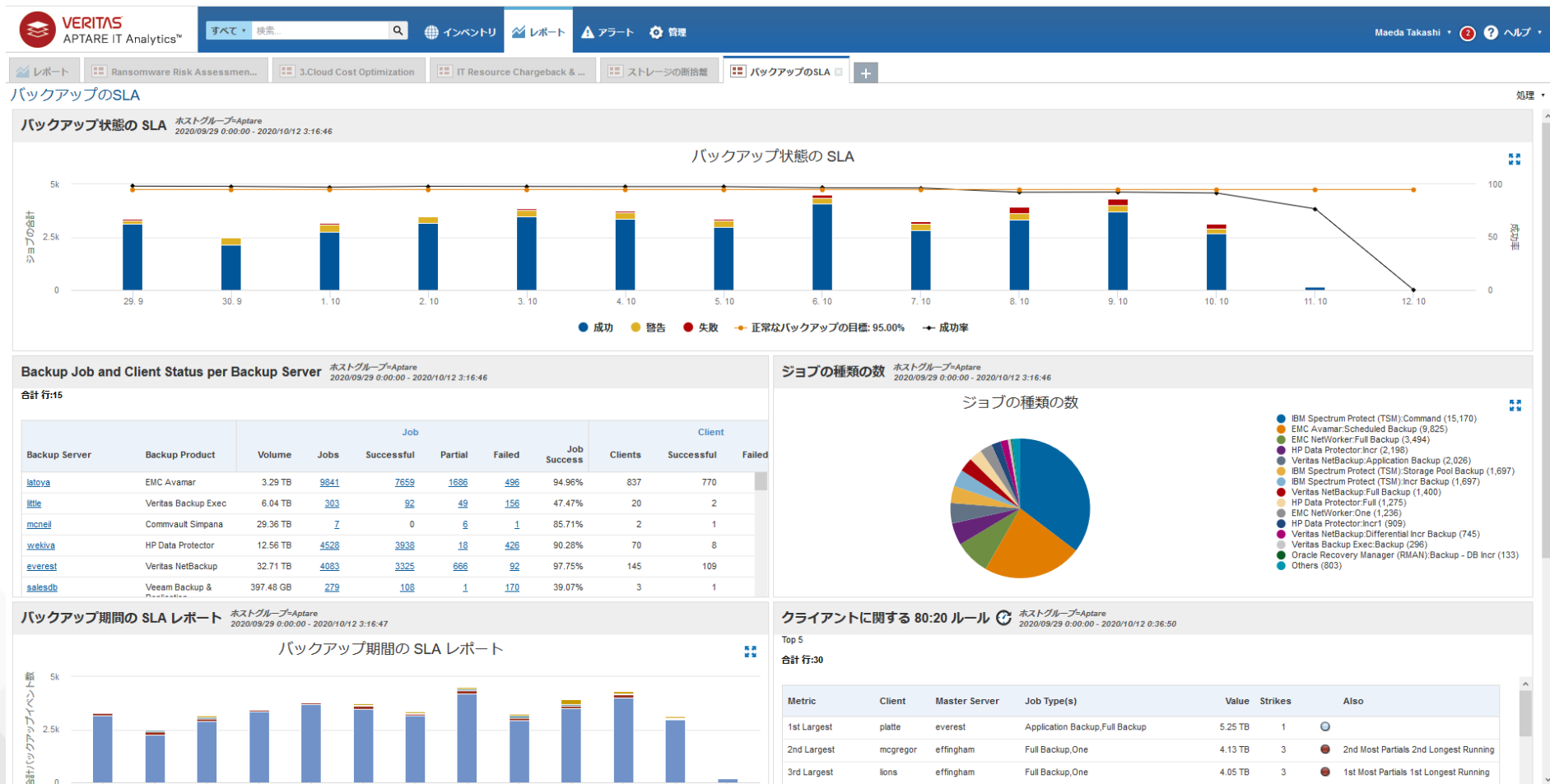
	ポータル	データコレクター
CentOS	7, 8	7, 8
Red Hat Enterprise Linux	7, 8	7, 8
SUSE Linux Enterprise	12	12
Windows Server	2016, 2019	2016, 2019

APTARE 10.5 Certified Configuration Guideより: https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/140726178-141940014-1

マルチテナント クラウドスケール SaaS アーキテクチャ



APTARE ポータル



APTAREレポートライブラリ

APTARE Home » Report Library

Veritas APTARE Customer Reports

Search

Categories

- ☐ Consolidated Visibility
- ☐ Risk
- Mitigation/Ransomware
 - ☐ Chargeback/Metering
 - ☐ Utilization/Optimization
 - ☐ Trending/Forecasting/Capacity Planning
 - ☐ Auditing/Compliance/Governance
- Products
 - Capacity Manager**
 - ☐ General (All Storage Vendors)
 - ☐ EMC Reports
 - ☐ HDS HNAS
 - ☐ HDS Reports
 - ☐ HPE 3PAR
 - ☐ Host Probe Reports
 - ☐ NetApp C-Mode
 - ☐ NetApp Reports (7 Mode)
 - Backup Manager**
 - ☐ General (All Backup Vendors)
 - ☐ EMC Avamar
 - ☐ COHESITY
 - ☐ CommVault
 - ☐ EMC Data Domain
 - ☐ EMC NetWorker (Legato)
 - ☐ HPDP
 - ☐ Rubrik
 - ☐ Oracle RMAN
 - ☐ Veritas NetBackup
 - ☐ Veritas Backup Exec
 - ☐ IBM Spectrum Protect (TSM)
 - ☐ Veeam
 - Virtualization**
 - ☐ Microsoft Hyper-V
 - ☐ VMware

Report Name

- 80-20 Rule of Problematic Clients
- 80-20 Rule of Problematic VM Guests
- APTARE 90 Day NBU Backup Assessment
- APTARE Instant NBU Backup Assessment Part 1
- APTARE Instant NBU Backup Assessment Part 1 MS
- APTARE Instant NBU Backup Assessment Part 2
- APTARE Instant NBU Backup Assessment Part 2 MS
- AWS Instance List
- Ad Hoc Backup Metric Forecast
- Ad Hoc Host Attribute Breakdown
- Allocated Available by Array
- Allocated Storage by Site Summary
- Allocated Used by Site
- Array Ad Hoc Raw Allocated Available Subscribed Di
- Array Ad Hoc Size over Time
- Array Allocation by Site
- Array Full Disclosure
- Array Full Disclosure Pivot
- Array Growth Period Over Period
- Array List Showing Pools
- Array Port Intelligent Provisioning
- Array Port Performance Report
- Array Stats vs Last Month
- Array Usable Free Multi Metric Forecast
- Array Use by Host

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

Veritas APTARE Customer Reports Library

The Customer Report Library is a collection of unique reports created by the APTARE community and is made available for all customers and partners. Reports can be downloaded and used as-is or customized to suit their own unique environment.

The custom reports in this inventory were created using the APTARE IT Analytics Report Template Designer (RTD) interface. These custom reports complement the over 300 reports that are included with the APTARE platform. These custom reports meet very specific customer requirements for capacity, backup, SAN fabric, and chargeback reporting. End Users and APTARE Technical Sales Consultants can quickly and easily use these reports to analyze the vast repository of data that APTARE maintains on customer data center environments.

Note: Some reports may not be suitable for large environments or MSP portals.

Get started by selecting a report on the left navigation pane. You can read a report description and download the report to your desktop. After downloading, you can import the report into your APTARE StorageConsole portal.

Examples of reports downloaded from this site are to be used as examples only and are NOT supported by Veritas. If you require assistance with modifying any reports, please contact Veritas Professional Services.

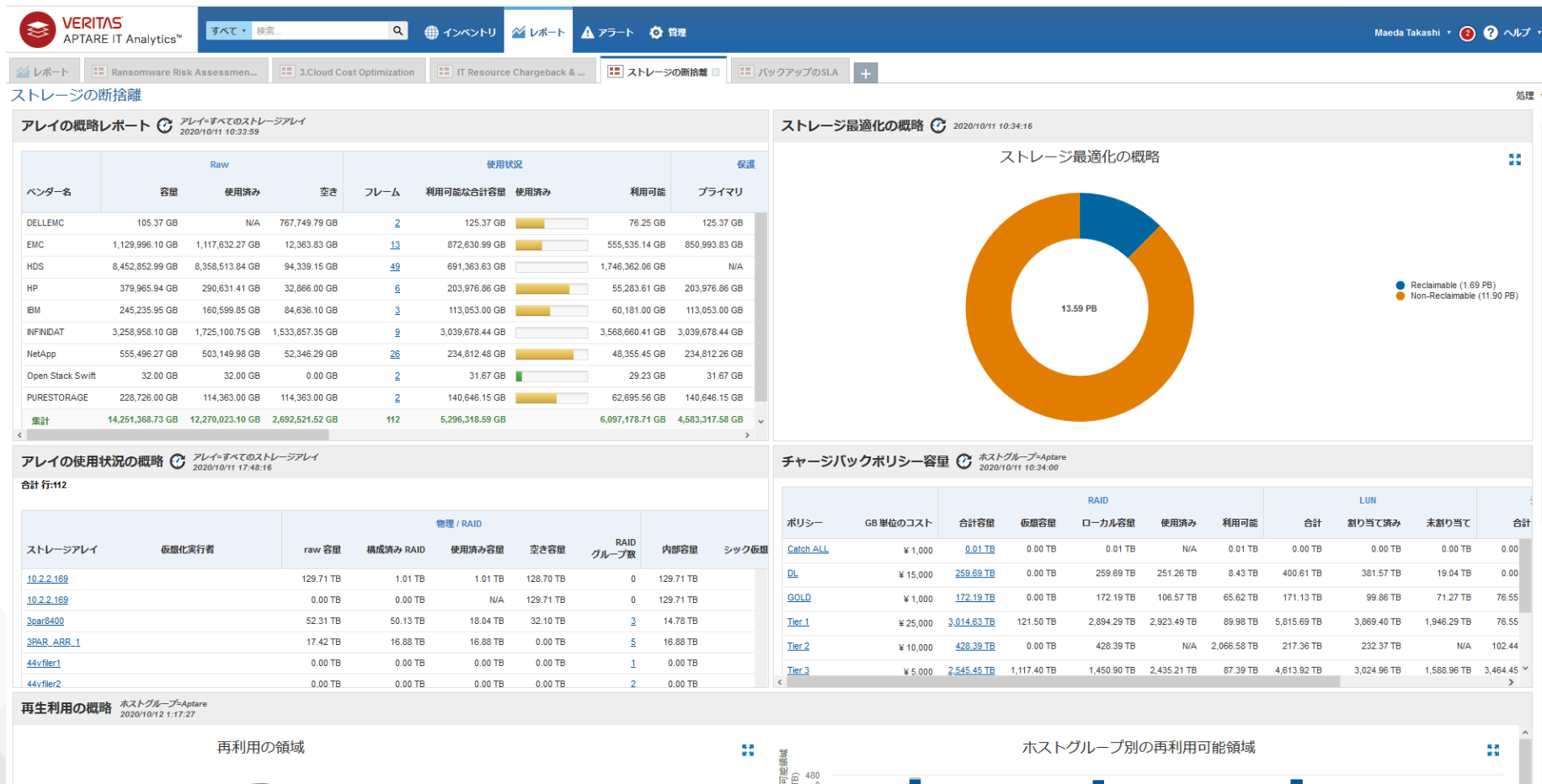
<https://reportlibrary.veritas.com/>



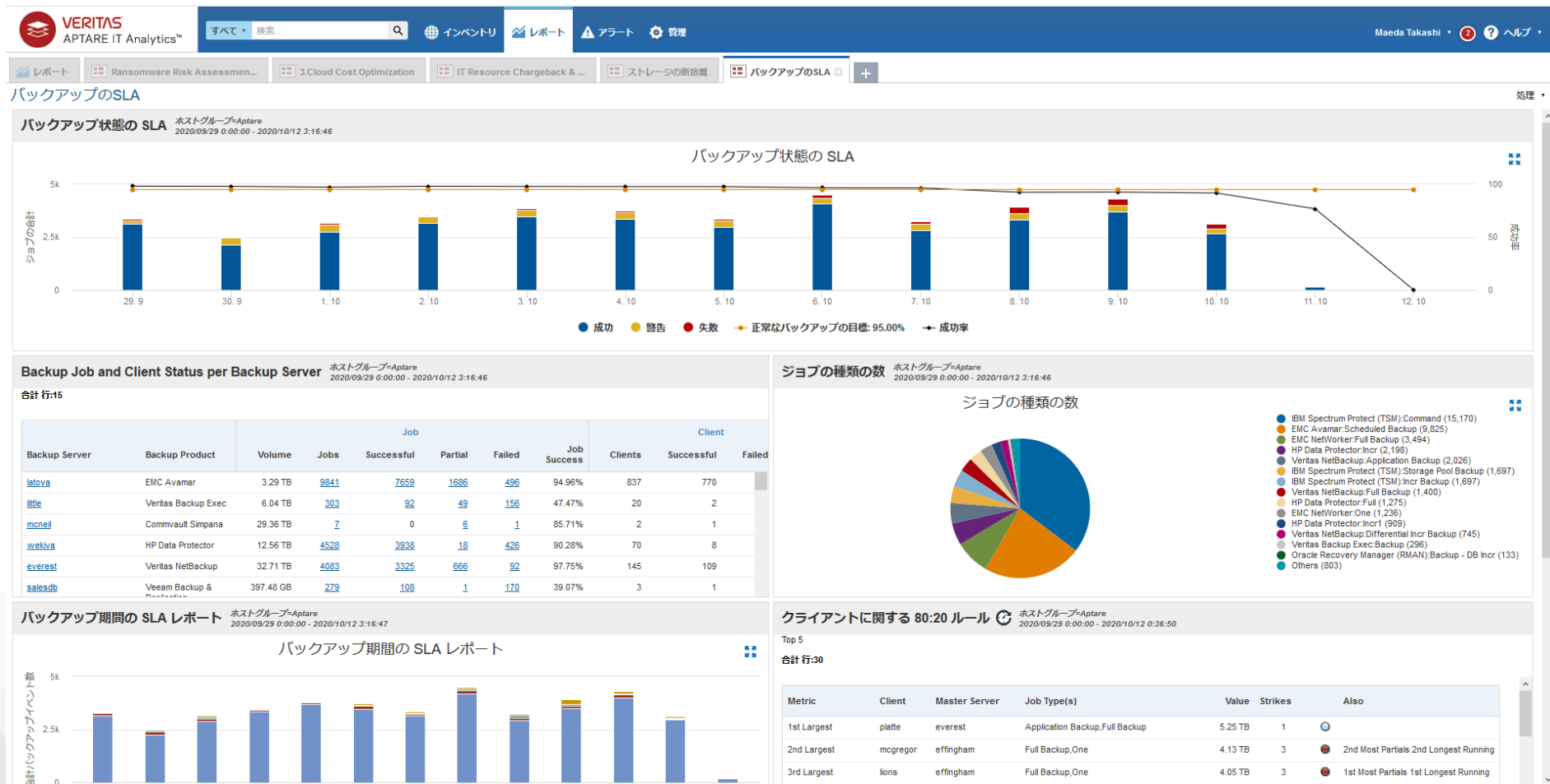
本日の内容

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | なぜITインフラの一元管理が必要か？ |
| 2 | APTARE IT Analyticsのユースケース |
| 3 | APTARE IT Analyticsのエージェントレス アーキテクチャ |
| 4 | ITインフラのサービスレベル管理を実現 |

ダッシュボード：ストレージの有効利用



ダッシュボード：データ保護のSLA



まとめ

APTARE IT AnalyticsでITインフラの効率化を！



インフラの最適化

- ストレージインフラの再利用
- 保護されていない資産のリスク軽減
- クラウドコストの最適化



統一した可視性

- 高度な分析とレポート作成で、
ヘテロ環境をダッシュボードで可視化
- データを集中管理で把握



包括的なチャージバック

- さまざまな運用における自動化ポリシー
およびチャージバックレポート
- サービスプロバイダとしてのIT運用を実現
- 予算の使用状況を把握し、
容量や利用実績を元にした
エンドユーザや利用部門への
費用請求を可能に

Q&A

ありがとうございました!

Copyright © 2020 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

VERITAS™